

長崎大学新任教職員ガイダンス（ウェルカムFD・SD）

- 【目的】（1）長崎大学が目指す教育、研究、社会貢献等に関する基本的知識を得ること。
（2）長崎大学にかかわる歴史を知ることにより、大学への理解を深めること。

【対象】 平成23年4月以降に長崎大学に新たに赴任した教職員

【日時】 平成24年4月3日（火）13:00～16:40 および4月4日（水）13:00～17:30

【場所】 長崎大学（文教キャンパス、片瀬キャンパス、坂本キャンパス）

【主催】 教務委員会

【企画・運営】 評価・FD教育改善専門部会、大学教育機能開発センター

【協力】 経済学部、医歯薬学総合研究科、附属図書館、熱帯医学研究所、情報メディア基盤センター

【内容】

4月3日（火）

第一部 「長崎大学が目指すもの」

長崎大学に関する基礎知識および国立大学法人としての戦略等について紹介がなされた。

13:00～13:10	集合写真撮影（事務局3階第2会議室にて）
13:15～13:20	挨拶 佐久間 正理事（教学担当）
13:20～14:00	「新任教職員のメッセージ～長崎大学の課題と展望～」 片峰 茂 学長
14:00～14:20	「大学教育の改革は契縫の課題」 佐久間 正理事（教学担当）
14:20～14:40	「長崎大学の研究状況について」 調漸 理事（研究・社会貢献担当）
14:40～15:00	「長崎大学の入試～入試からみた長大生～」 山口 恭弘 副学長（入試担当）
15:00～15:10	休憩

第二部 「長崎大学の教育支援」

とくに新任教員を対象に、長崎大学の教育支援体制の紹介がなされた。

15:10～15:35	「教育マネジメントとFD」 山地 弘起 准教授 大学教育機能開発センター
15:35～16:00	「ICTによる教育支援」 野崎 剛一 教授 情報メディア基盤センター
16:00～16:25	「図書館のサービス」 山本 知美 主査 附属図書館
16:25～16:40	まとめ

4月4日（水）

第三部 「長崎大学歴史散歩—150年をふりかえる」

2班に分かれ、長崎大学の歴史的遺構を巡るキャンパスツアー「長崎大学歴史散歩」を行った。参加者の皆と共に歩く中で、長崎大学の各キャンパスに残る歴史の流れを感じていただいた。

12:45～13:00 受付（事務局3階 第2会議室）

13:00～13:05 挨拶

13:05～13:15 レシーバーのチェック等・移動

13:15～14:20 文教キャンパス歴史散歩

【文教キャンパス：原爆の惨禍の跡と新制総合大学60年の象徴】【橋本健夫学長特別補佐】

- | | |
|--|------------------------|
| (1)三菱長崎兵器製作所の碑：文教キャンパス誕生の意味 | 【高橋正克教授】 |
| (2)長崎師範学校原爆慰靈碑：学徒動員の中での犠牲 | 【大学教育機能開発センター】 |
| (3)中部講堂：水産県・長崎の拠点大学としての期待を込めた寄付建物 | |
| (4)「若人」の像：生死の瀬戸際でも人間性を失わない強靭さを願って | |
| (5)環境科学部正門側（旧教養部建物）：時計塔と大壁画／長崎大学と学生運動・教養教育 | |
| (6) ①下村脩名譽博士顕彰記念館（薬学部）
②お薬の歴史資料館（薬学部） | 【池田理恵助教（医歯薬学総合研究科（薬））】 |
| (休憩10分) | |

14:20～14:50 バス乗車（中部講堂前）・バス移動

バスルート：【佐久間 正理事（教学担当）】

文教キャンパス→平和公園前→長崎駅前→出島→国道499号線（五島町電停付近から左折）→長崎市立図書館（旧・新興善小学校：被爆時の長崎医科大学附属病院仮施設）→旧長崎グランドホテル→長崎県庁（医学伝習所発祥地）→築町→賑橋→公会堂前→諏訪神社前→片淵キャンパス

14:50～16:05 片淵キャンパス歴史散歩

【片淵キャンパス：キャンパスが語る一世紀の伝統】

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| (1)拱橋（こまねきばし）：100年間学生が通い続けた石畳 | 【村田省三教授（経済学部）】 |
| (2)長崎高商門標：「第三高商」の誇り高い伝統の原点 | |
| (3)瓊林会館・赤レンガ倉庫： | |
| 原爆被災を免れた貴重な長崎大学の歴史的建物。同窓会の強い結束 | |
| (4)特別講演：「高商100年と武藤文庫」 | 【赤石孝次教授（経済学部）】 |
| (5)武藤文庫展示室（附属図書館経済学部分館） | 【宮脇千幸主査（学術情報部）】 |
| (休憩10分) | |

16:05～16:25 バス乗車・バス移動

16:25～17:25 坂本キャンパス歴史散歩

【坂本キャンパス：生命科学の拠点であり続ける理由～150年の経験】

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| (1)近代医学史料展示室（附属図書館医学分館） | 【志波原智美主査（学術情報部）】 |
| (2)熱帯医学ミュージアム（熱帯医学研究所） | 【堀尾政博教授（熱帯医学研究所）】 |
| (3)原爆医学資料展示室（原爆後障害医療研究施設2号館） | 【三根眞理子教授
(核兵器廃絶研究センター)】 |

17:25～17:30 まとめ 山地弘起 准教授（大学教育機能開発センター）

【参加者】

第一日目 第一部「長崎大学が目指すもの」60名（新規採用事務職員12名含む）

第二部「長崎大学の教育支援」 42名

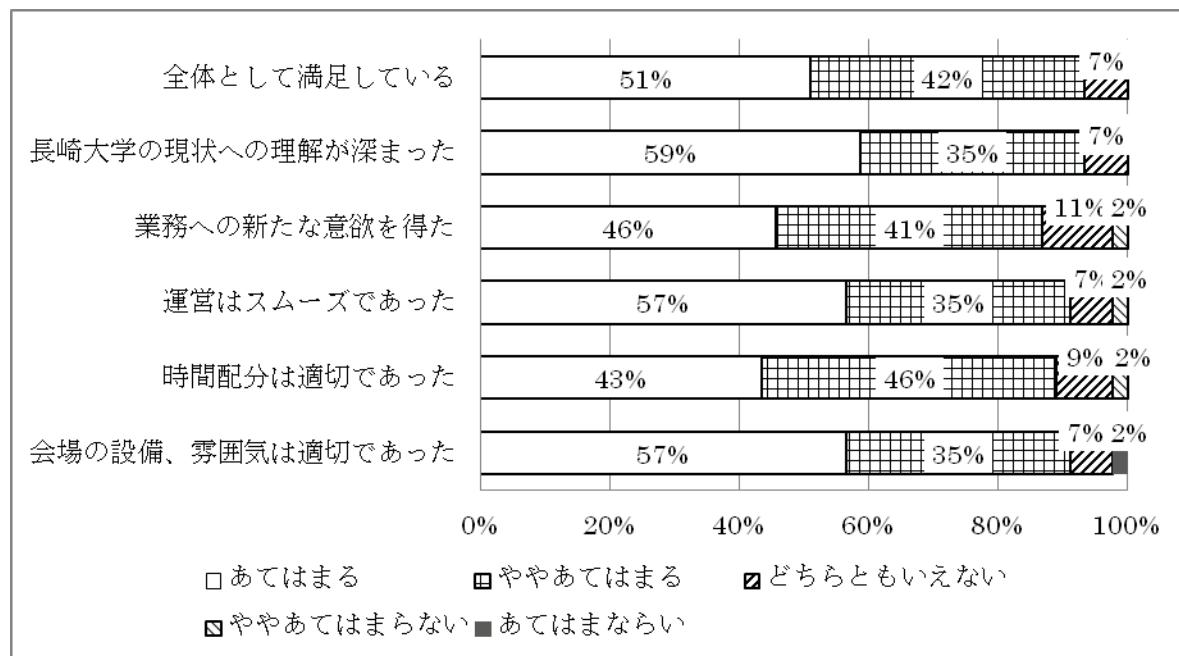
第二日目 第三部「長崎大学歴史散歩—150年をふりかえる」35名

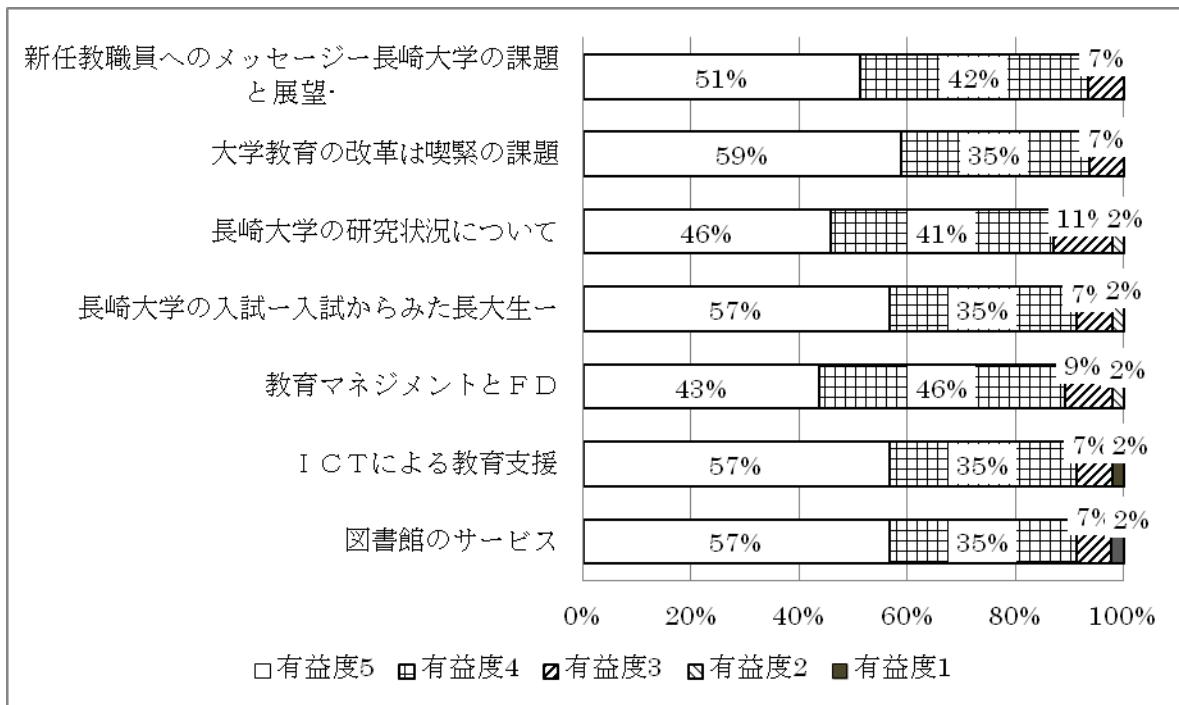
所属	第一部	第二部	第三部
教育学部	4	4	4
経済学部	4	4	2
医歯薬学総合研究科（医）	7	5	5
医歯薬学総合研究科（保）	6	6	6
医歯薬学総合研究科（歯）	1	1	1
医歯薬学総合研究科（薬）	3	3	1
工学研究科	3	3	4
環境科学部	1	1	1
水産・環境科学総合研究科（水）	1	1	
病院	4	4	2
研究推進戦略室	1		
産学官連携戦略本部	2	2	2
言語教育研究センター	5	4	4
事務職員	18(12)	4	3

※内数：新採用事務職員

【参加者からの評価】

(第一日目 第一部、第二部)





○長崎大学の現況理解のために、加えるべきテーマがありましたら、ご記入ください。

- ・卒業生の就職状況について（産学官連携戦略本部・准教授）
- ・web classについての講習会。・経費精算方法、給与の振込日などの事務的なガイダンス（言語教育研究センター・助教）
- ・「学生の学力」や「学生気質」といったものも学生支援等に携わる先生方あるいは事務の方からのテーマもあっていいのではないか。（言語教育研究センター・教授）
- ・地元、周辺の住民との関係。・オープンキャンパス情報。・地元に対する公開講座の有無（工学研究科・助教）
- ・就職状況、キャリアサポートについて。教育も大事だが実際働く場所がないと、せっかく人材育成しても意味がない。どのようなキャリアサポートをしているのか気になった。（事務職員）
- ・給与体系の説明（事務職員）

○内容面・運営面のいずれでも、何か改善を要する点にお気づきでしたら、ぜひご記入ください。

- ・第2部については、もう少し時間をかけて頂けた方が良いように思った。（医歯薬総合研究科・准教授）
- ・質問の時間が無い。・参加者のグループワーク等、あってもいいのではないか。（医歯薬総合研究科・教授）
- ・「ICTによる教育支援」といったようなセクションは、PC端末がある部屋で実施すればいいではないかと思った。（言語教育研究センター・教授）
- ・大変わかりやすかった。（医歯薬学総合研究科（薬）・助教）
- ・スライドが見えない。前2列の席はない方が良い。もしくはスクリーンを上方に設置すべき。
- ・演者によって声が聞こえない。
- ・power pointの資料は不要。もし資料を配布するなら、1冊にまとめた方が良い。（医歯薬学総合研究科・助教）
- ・ICTと図書館情報以外のハンドアウト資料は必要ないと感じた。
- ・情報関係の説明についてもう少し、時間を配分して欲しかった。（経済学部・教授）
- ・時間数に対して、内容が多くすぎる。・もっとポイントを絞った方が良い。（医歯薬総合研究科・助教）
- ・学長の話が長すぎる。・休憩を90分に1度入れる等の工夫が欲しい。（准教授）
- ・教育、英語教育重視はよくわかったが、研究はどうなのか、研究支援体制の説明との比重が低い。
- ・モジュールについての説明が分りづらい。教育担当者にとっては是非とも理解しないといけない

概念だと思うが、初めて聞く者に対する説明がなされていない。より具体的な説明が必要である。
(准教授)

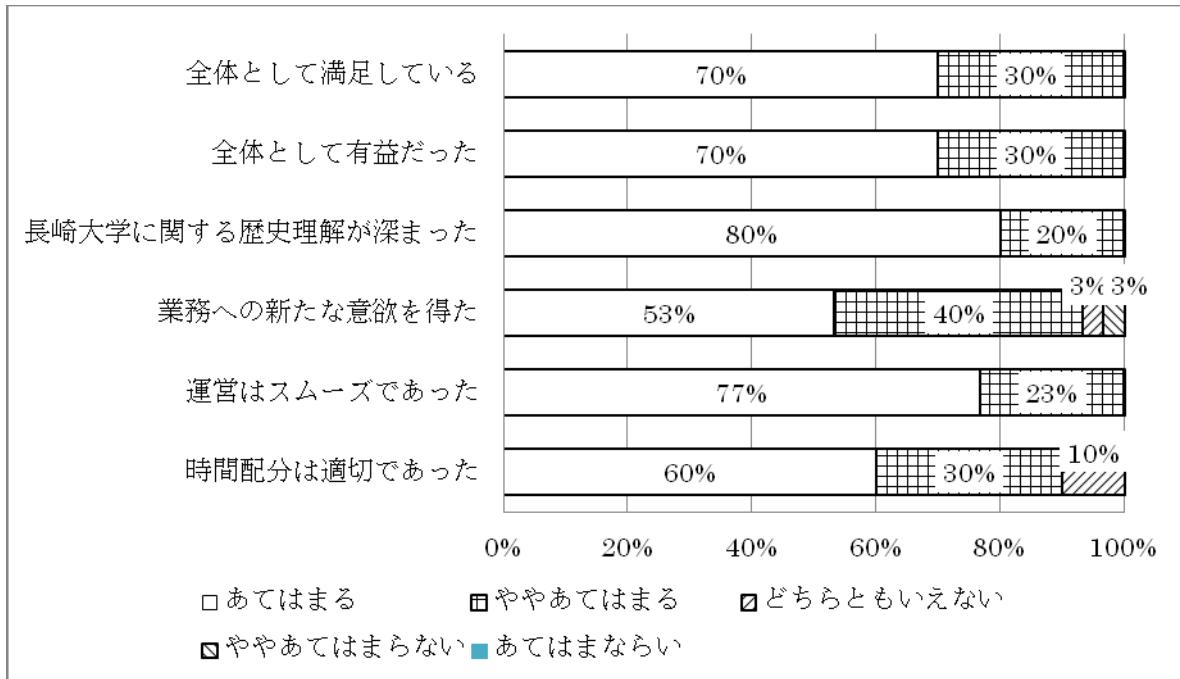
- ・建物の入口にもう少し分りやすい案内の掲示。・Webでの申込を行った後に確認メールの送信がある方が申込できたか確認できるので、可能な限り確認メールを頂きたい。(医歯薬学総合研究科(薬)・助教)
- ・場所が多少わかりにくく迷った。(教育学部・准教授)
- ・テーマや内容は大変有意義であった。しかし、会場のマイクの感度が悪く、所々声が聞きづらい箇所があった。(事務職員)
- ・専門的な内容が多く、理解しづらいこともあったので、特に研究費の仕組み等、少し説明を加えて頂けると新採用の事務職員にとってはありがたいのではないかと思う。(事務職員)
- ・マイクの音量が小さかったので、聞こえづらかった。(事務職員)

○その他、本日の研修に関して、何か感想や意見がありましたら、ぜひご記入ください。

- ・研究目的の為、共有できる設備等を教えて頂きたい。・学長(リーダー)の具体的な方針が聞けて良かった。(産学官連携戦略本部・准教授)
- ・今の大学の教育の現状、法人化して大きな変換期にある事を分かりやすく説明して頂き、大変勉強になった。(医歯薬学総合研究科・助教)
- ・I was very happy with yesterday's FD. Although I could only understand 50%. I was able to learn a lot about Nagasaki University.(助教)
- ・日頃の業務を通じて、部局は違えでも大学は一体となって動いているという面は見えていたが、今日のガイダンスでそれが更に深く見え有意義な時間だった。(熱帯医学研究所・事務職員)
- ・とにかくPCが重要ということが良く分かった。(教育学部・准教授)
- ・学長の明確な意志が分った。学校改革に期待が持てた。(工学研究科・教授)
- ・学長を始めとして講師の皆様の熱意が感じられた。赴任当初にこのような研修を開催して頂き、有難うございました。他の大学にはみられない素晴らしい研修だと思う。(学生支援部・事務職員)
- ・枠組みはわかったがいろいろなシステムを利用する為の手引(あるいは情報のアクセス)について、示してほしい。(各、新しい試みは大変興味深く、有効であると思ったため。)(医歯薬学総合研究科・教授)
- ・call教室の説明が欲しい。(准教授)
- ・今まで知らなかったサービス(図書・メディア基盤)等の紹介もあり、ためになった。(医歯薬学総合研究科)
- ・片峰学長を始めとした、様々な方のお話が聞けて、とても有意義な時間を過ごせた。今後も長崎大学の取り組んでいる、改革や事業を積極的に知っていこうと思う。(事務職員)
- ・大学教育の改革のお話については以前お聴きしたことがあったが、科研費や本学の入試に関しては初めてお聴きしたばかりだったので非常に良い勉強になった。(事務職員)
- ・スケールの大きい話で難しい部分もあったが、自分も本学を担っていく教職員の一員という実感がわいた。(事務職員)
- ・学長や理事のお話を聞くことのできる機会というのは少ないので、貴重な機会を得ることができたと思う。(事務職員)
- ・皆様から貴重なお話を聞け、大学の現況の理解が深まった。(事務職員)
- ・学長から直接、長大の方針を話して頂くことで意識が高まった。(事務職員)

○今後、FD・SDのテーマや実施方法などに関して何かご希望がありましたら、ご記入ください。

- ・全体的、事務的手続き等…ビデオなどのe-learningでもいいので…をFD・SDに加えて欲しい。(医歯薬学総合研究科・教授)
- ・各種、届出の案内や書き方の具体的な指導もして欲しい。(メーリングリストの種類、メールアドレス取得の方法もバラバラで情報収集に遅れが出る。)(医歯薬学総合研究科・助教)



○内容面・運営面のいずれでも、何か改善を要する点にお気づきでしたら、ぜひご記入下さい。

- ・この短い時間に、有効に理解が深まった。（医歯薬学総合研究科（保）・助教）
- ・ありがとうございました。今後の動きかたの大まかな指針となった。（教育学部・准教授）
- ・見学の後、次にどこに行けばいいのか分り辛い場面もあったが、沢山の説明とスムーズな運営でとても有意義なものだった。（産学官連携戦略本部）
- ・色々回ったので一か所あたりの時間が少し短いように感じた。自分の学部以外を長めに時間を取りよいのでは…（医歯薬学総合研究科（医）・助教）
- ・少し長いかもしれない。（医歯薬学総合研究科・准教授）
- ・内容と比べて経済に少し時間を取り過ぎかと思う。（教育学部・准教授）
- ・耳に付けるレシーバーはあまり意味が無かったのでは…。（言語教育研究センター・教授）

○その他、今回のFD・SDに関して、何か感想や意見がありましたら、ぜひご記入ください。

- ・ハラスメント（セクハラ、アカハラ）に関するものはないのか？（准教授）
- ・とても良い企画と思う。対応して頂いた教職員の皆様の熱意を感じた。ありがとうございました（工学研究科・教授）
- ・大変お世話になり、ありがとうございました。説明された先生方のお話には、感銘を受けた。長崎大学で働くことが、誇らしく思える。（事務職員）
- ・長崎大学の様々な側面から企画をして頂き感謝します。ありがとうございました。（産学官連携戦略本部・准教授）
- ・歴史散歩は極めておもしろく、時間をもっと割いて欲しかった。（工学研究科・助教）
- ・ツアーは大変おもしろかった。特に経済学部は初めての訪問だったのでとても良かった。（医歯薬学総合研究科（医））
- ・2日目の案内して頂いたのが良かった。（医歯薬学総合研究科（医）・助教）
- ・大学の歴史や研究分野を拝見できて良かった。（言語教育研究センター・助教）
- ・特に理事のバスガイドは興味深かった。（助教）
- ・長崎市出身だが、長崎大学については知らないことばかりで本当に為になった。様々な（価値ある）資料をまたゆっくり見てみたいので再び訪れようと思う。ありがとうございました。（医歯薬学総合研究科（医）・助教）
- ・長崎大学の歴史を学べたので有意義だった。（水産・環境科学総合研究科（環）・准教授）
- ・一般的な長崎史の話はなくても良い（プリントで十分。大方の人は知っていることでは？）（教

【総 括】

○一日目の大学紹介は、満足度・有益度とも高く、長崎大学の現況理解の目標も達成されたといってよい。しかし、内容構成や時間配分等に関して再検討の余地がある。例えば：

・質問の時間的余裕がほとんどなく情報提供が続くため、内容を精選した方がよい。第一部では、学長講演の後は組織体制・教育・研究に内容を絞り、それ以外はオンラインコンテンツまたはサマーワークショップでのFD・SDとして提供した方がよい。自由記述で要望のあった就職状況や学生理解に関する内容は、昨年度のサマーワークショップの中でプログラムが組まれていることから、今回の入試関連の内容もサマーワークショップに含める方向でどうだろうか。第二部のICTによる教育支援も、PC端末がないために具体的なガイダンスになりにくいことから、やはり別機会が望ましい。

・参加者からの提案にもあるように、グループワーク的なものを入れることによって、より質疑応答や対話が生じやすくなることが期待される。質疑応答に時間を取りることができれば、自由記述で出されている要望の多くは吸収できると思われる。グループワークを好みない参加者もあるだろうが、新任教職員が少しでも互いを知り合う機会として受容されるのではないか。

・各部局で行われるガイダンス内容（経費精算や給与振込、各種届出など事務的な事柄）を期待した向きもあるので、それらは所属部局で行われる旨を伝えた方がよい。もしくは、新任教職員向けの小冊子が準備されるとよい。

・会場準備の段階でマイク音量の調整（ノイズチェック含め）が不十分であったようなので、次年度は注意する必要がある。

○二日目の歴史散歩は、参加者を二班に分けて対応していただくことから協力教職員に大変お世話になるものであるが、参加者からの満足度・有益度はきわめて高く、長崎大学に関する歴史理解を深める目標も十分に達成されている。時間的にもほぼスケジュール通りに進行した。ただ、途中離脱の参加者が有り得るため、レシーバーのナンバーは最初の配布時に記録しておいた方がよい。歴史散歩は準備・実施とも多大のエネルギーが費やされるが、他大学では殆ど例のないユニークな企画だけに、今後とも同形式での継続が望まれる。